



ブッポウソウ観察・撮影マナー

せら夢自然観察園に設置した巣箱でブッポウソウの子育てが始まっています。

繁殖を脅かす存在は、カラスなど自然界にたくさん存在していますが、**ブッポウソウが一番恐れるのは繁殖場所である巣箱に長時間注目する人間です**。巣箱に注目する人間がいると遠くから見守るだけで巣箱に戻りません。親鳥が長時間巣箱近づけないと、ヒナに餌を運べず、成長盛りのヒナに対して致命的なダメージを与えることになります。ブッポウソウの観察に際しては、以下の観察・撮影のマナーを守って下さい。

- ★ **写真撮影をされる方は必ず公園管理事務所に申し出てください。**
Tel0847-25-4400
- ★ **観察や写真撮影は必ず観察小屋（ハイド）から行ってください。**
(ヒョウモンモドキ飼育ハウスのすぐ下の広場に設置しています)
- ★ **メダカ池方面へ行く場合は巣箱の近くで立ち止まらないで下さい。**

■ブッポウソウの繁殖日程と行動（吉備中央町のホームページより引用）

営巣場所選定期 (5月初旬～下旬)	4月下旬から5月上旬にかけて日本列島に渡ってきます。昼間にも観察できますが、特に朝夕活発に行動します。
抱卵・抱雛期 (5月下旬～6月下旬)	巣箱の外にいるブッポウソウは半減します。巣箱を監視するように少し離れた枯れ木やヒノキの頂上にとまっています。
給餌期 (6月下旬～7月下旬)	給餌の最盛期は7月初旬～中旬です。親鳥が頻繁に餌を巣箱に運ぶので最も観察しやすい時期です。餌は甲虫・トンボ・バッタ・セミなどの昆虫です。
巣立ち (7月中旬～下旬)	巣立ち直後の約1週間、ヒナは巣箱付近で親鳥から餌を受け取ります。この頃が成鳥・幼鳥も含めて最も個体数が多い時期です。9月には東南アジアへ渡ります。

ブッポウソウの観察ポイント

コナラの枝



アカマツ(右)の枝



コナラの枝



枯れ枝



巣箱



アサザ池の上の柵が
巣箱から50mの距離

